学校評価（教員自己評価）

【Ａ　学習指導　①教育課程・指導体制　②学修・学力について】（平成２９年）

学習指導の目標は、「基礎・基本」を重視し、学習習慣を確立することである。集団授業で、学力が比較的高い生徒や反対に低い生徒の学力伸長をどのようにして確立するかという課題がある。上位級の検定補習は、放課後時間を別に確保して実施している。

生徒の欠席や遅刻は、生徒の登校・学習意欲や家庭環境に起因し、近年では、クラス内での友人関係のトラブルも増加している。教員の果たす役割が増加している。

また、複数の検定が重なり、補習時間が十分に確保されているとは言えない場合もある。

【Ｂ　生徒指導　①指導体制　②学校生活】　担任・学年・生活指導の連携のもと、安全・安心な学校生活の確保を優先して、生徒を指導している。遅刻や欠席が続く生徒もおり、基本的生活習慣の確立は、入学時より指導している。生徒の中には、規律を守り、自主的な学校生活を送る態度がなかなか身に付かない生徒もいる。時間はかかるが、教員が取り組む課題である。

【Ｃ　進路指導　①キャリアガイダンス　②進路状況】　進路指導は、１ 年次より、体系的・系統的に取り組んでいる。ただ、生徒の中には、進路について、意思決定が遅れたり、家庭で十分相談できていない生徒もおり、クラス・学年では統一出来ていても、個々の生徒においては、十分理解出ていない場合もある。限られた時間のなかで、意思決定することの大事さも理解させたい。

【Ｄ　施設の維持管理　①点検・改善　②維持・管理】　学校全体の老朽化には、日々の清掃や定期てな修繕では対処できないものも見受けられる。法令に定められた点検などは学校として定期的に実施している。

【Ｅ　危機管理体制　①生徒の安全管理　②防災体制危機管理体制】

個別の問題が発生した場合、対処するシステムは、確立しているが、学校全体の「危機管理マニュアル」は、現在作成途中である。「携帯の使い方」・「自転車マナー」の講習会を実施し、「生徒の安心・安全」を確保する取り組みは実施してる。校外学習や宿泊行事においては、マナーや規則を守り姿勢を育んでいる。

【Ｆ　学校行事】

学校行事は、教員全員で取り組む体制が確立されている。生徒会や各種実行委員会による行事の運営や支援体制も確立している。ただ、内容は教員主導になっている。生徒の自主性をどこまで確保するのかは、毎年の課題である。

【Ｇ　公開性及び外部への対応　①保護者　②一般対象}

年２回の公開授業と年３回の保護者懇談会は継続して実施している。併せて進路保護者説明会も実施している。地域の方や企業の方に公開授業は実施していない。